



2025協約改訂を全組合員で闘おう！ シリーズ③

「そのような考えはない」しか言えないのか！ 2025労働協約改訂第2回団交

本部は本日、2025年度労働協約改訂及び労働条件改善に関する申し入れ（『申第4号』）についての第2回団交を開催しました。今団交で、申し入れに対する会社回答を受けました。回答は、ほぼ全てにおいて「そのような考えはない」という不誠実な回答でした。

2025年期末決算は、前年比で大幅な増収増益を計上しました。また、2026年3月期第1四半期決算においても、単体の純利益は対前年同期比121.6%増の1,390億円を計上しました。これは社員が日々安全・安定輸送を担った結果であることは言うまでもありませんし、会社も認めています。

しかし、2025年度のベアはわずか8,000円で、しかも格差ベアです。世間の春闘相場からは大きく下回り、物価高騰には追いつかず社員の生活は苦しくなっています。「会社が儲ければ社員の賃金が上がる、労働条件が良くなる」というウソが明白になりました。このようなウソを流しているのが御用組合の指導部です。また、今年度4月より実施されている新人事・賃金制度の見直しの中で、人事考課がDランク2期連続で降格や降職される制度は認められません。

一方、リニアに関する要求（質問）に対して会社は、内容について全く触れておらず、不誠実極まりません。リニア工事では、大深度化トンネル掘削工事の中断が相次いでいます。岐阜県瑞浪市における水位低下、恵那市における有害物質検出の問題は全く解決できない状況です。本部は今後の議論の中で追及していきます。

JR東海労は、全ての社員が利益を平等に受けられる制度、働きやすい職場を目指して闘っていきます。

※次回の第3回団体交渉は、8月26日に開催します。